RV INNO RV-INNO

IN 723 ラチェットベルト 取扱説明書

はじめに

このたびは、カーメイトRV-INNOラチェットベルトをお買い上げいただきましてありがとうございます。
本品はサーフボード、セイルボードを積載するためのRV-INNOシステムキャリア用のアタッチメントです。この取扱説明書にはラチェットベルトの取付・使用方法が記載されています。

この取扱説明書をよく読んで理解してから本品を使用し、記載事項全てを必ず守ってください。
この取扱説明書は、必要なときにいつでも読めるよう、できる限り身近に大切に保管してください。

本品をゆずられる場合は、次に使用される方のために本書も併せてお渡しください。
また、本書をお読みになられた上で、ご不明な点がございましたら本書記載のサービスセンターにお問合せください。

目　　次

はじめに…… 1
安全にお使いいただくために…… 2
　本書に記載する記号について…… 2
　必ず守ってください…… 2
部品内容を確認する…… 6
取付方法…… 7
　ステー・バーを車両に取付ける…… 7
　アタッチメントをバーに取付ける…… 7
使用方法…… 8
　ボードを積載する…… 8
　走行する…… 10
　ベルトの緩め方…… 10
日常のお手入れ…… 11
保管方法…… 11
　各部の点検をする…… 11
　アタッチメントを保管する…… 11
純正補修パーツのご案内…… 12
お問合せ先…… 12

安全にお使いいただくために

本書に記載する記号について

本書では、特に重要な事項や知っておいていただきたいことを、記号を用いて説明しております。それぞれの記号とその内容は次のとおりです。

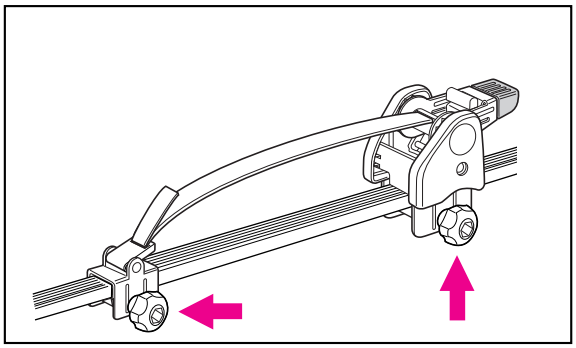
⚠警告	警告事項を守らないと、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。
⚠注意	注意事項を守らないと、ケガを負ったり、製品・車両・積載物が損傷するおそれがあります。
参考	本品を使用する上で、知っておいていただきたいことについて説明します。

必ず守ってください

本品を安全に正しくお使いいただくために、次のことがらを必ず守ってください。

⚠警告

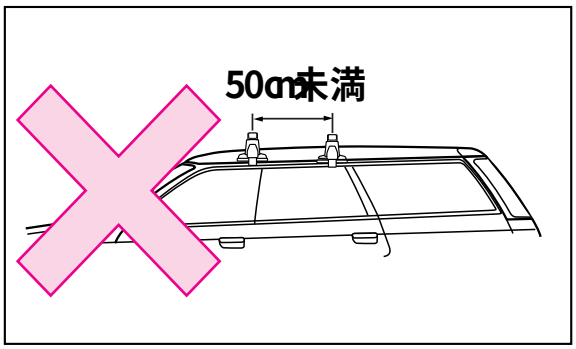
取付上および使用上の警告



走行前に必ず前後計4ヶ所のノブにユルミがないか点検し、ユルミがある場合は増し締めしてください。

ノブにユルミがあると、走行時の風圧により積載物が脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。

取付上の警告

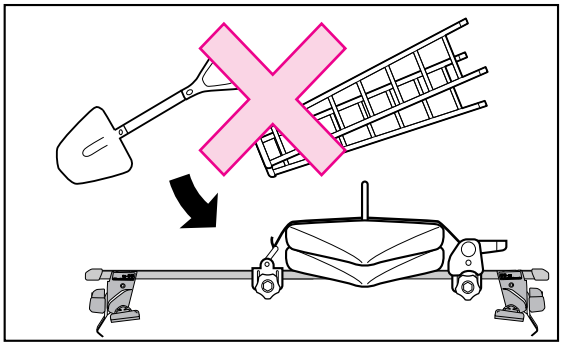


バーの前後間隔は、50cm以上とってください。

バーの前後間隔が狭い状態で取付けるとボードが確実に固定できず脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。

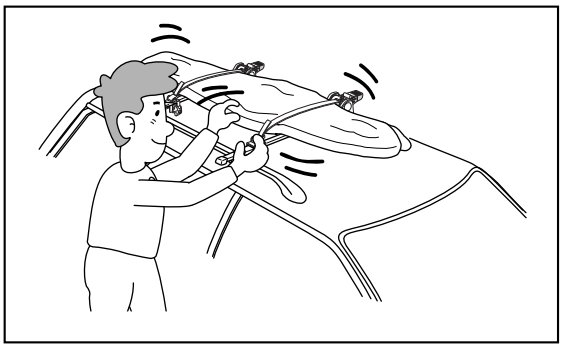
⚠ 警告

使用上の警告



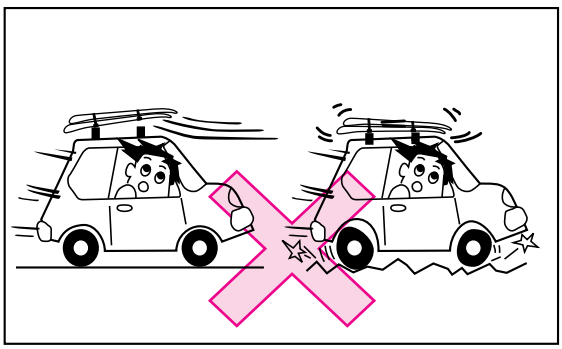
本品はショートボード 1～3艇、またはロングボードやセイルボード 1～2艇を積載する専用アタッチメントです。サーフボード、セイルボード以外のものは固定できませんので積載しないでください。

サーフボード、セイルボード以外のものを積載すると、固定力不足により脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



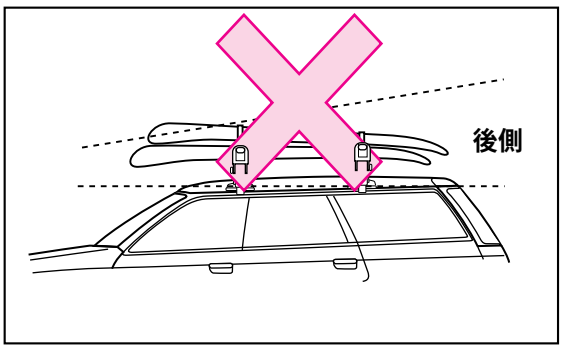
走行前に必ずボードを前後、左右、上下に揺すってベルトの張り具合を点検し、ユルミがある場合は増し締めしてください。

ベルトにユルミがあると、走行時の振動や風圧によりボードが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



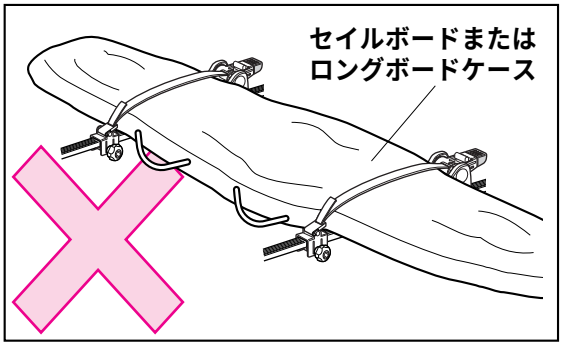
安全のため法定速度を守って走行してください。強風時や悪路では、必ず時速 80km以下の速度で走行してください。

特に横風・強風時や海岸、高架橋などは、より多くの風圧がかかるため十分速度を落として走行してください。強風時の連続走行や悪路走行をすると、ボルトの緩みによりアタッチメントが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



積載物（サーフボード、セイルボード）を重ねて積載するときは、後側を高くして積載してください。

前側が高くなると、空気抵抗が増し、強い風圧を受け脱落するおそれがあります。

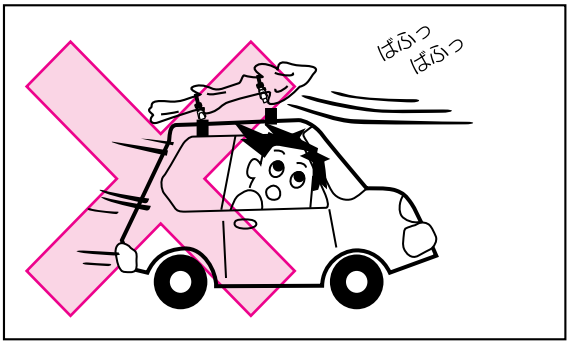


セイルボードやロングボードはケースに入れて積載しないでください。ショートボードのみケースに入れて積載できます。

セイルボードやロングボードをケースに入れて積載すると、固定力不足により脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。

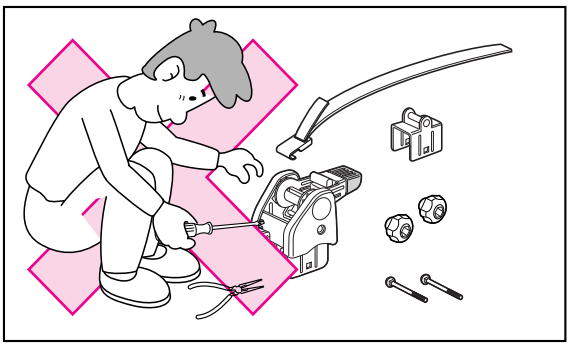
⚠ 警告

使用上の警告



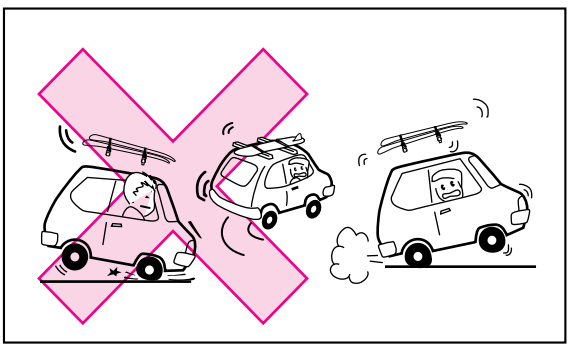
ショートボードをケースに入れて積載するときは、ばたつかないようにしっかりと固定してください。

ケースがばたついた状態で走行すると、走行時の風圧により積載物やアタッチメント、キャリアが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



他メーカーのキャリアへの取付けや、本品を改造してのご使用はおやめください。

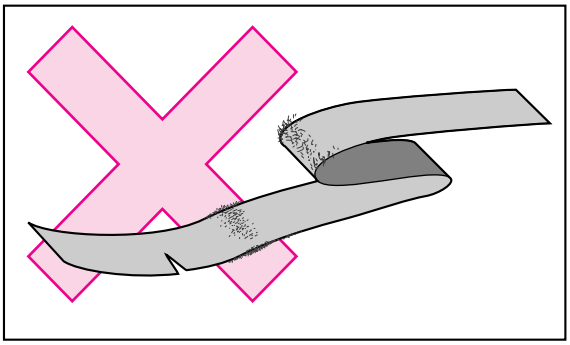
他メーカーのキャリアに取付けたり、改造して使用すると、確実な固定ができず、アタッチメントや積載物が脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



急発進、急ハンドル、急ブレーキ、悪路走行はなるべく避けて安全な速度で走行してください。

取付位置がずれる等、積載物の脱落の危険があります。やむを得ず急ブレーキ等を行った場合は、取付状態に異常がないか確認した後、走行してください。

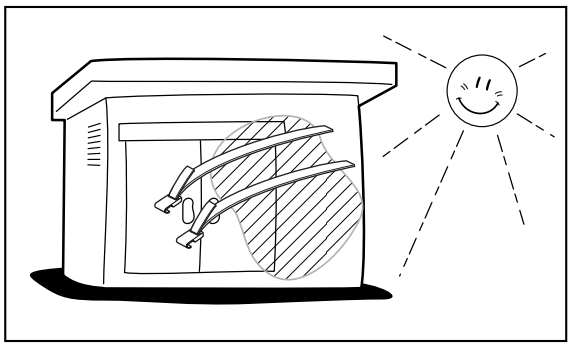
ベルトについての警告



ベルトは消耗品です。ご使用ごとに必ずベルトの表裏を点検し、以下の現象が見られたらただちにご使用をやめ、新品（純正補修パーツ）と交換してください。

1. ベルトの表面がケバ立ってきたとき。
2. ベルトに損傷、破損があるとき。
3. ベルトの一部もしくは、ある区間の色が薄く変わったとき。
4. ベルトの縫い糸にほつれや切れがあるとき。
5. ベルトに熱や化学薬品による損傷が見られたとき。
6. ベルトフックが欠落、損傷、変形、摩耗、サビのあるとき。

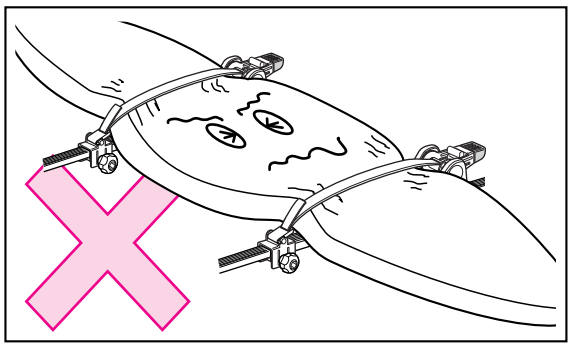
ベルトについての警告



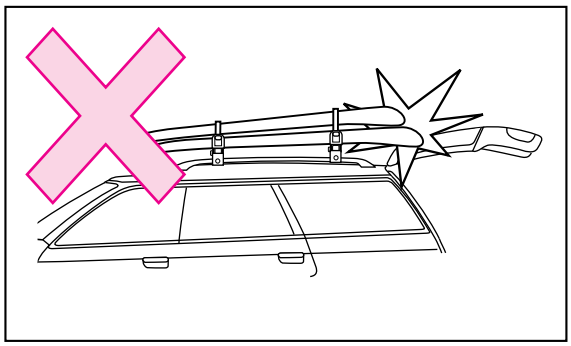
紫外線によりベルトは劣化します。
ご使用にならないときは、必ず取り外し、直射日光の当たらない場所に保管してください。またベルトは必ず指定のものをお使いください。

⚠ 注意

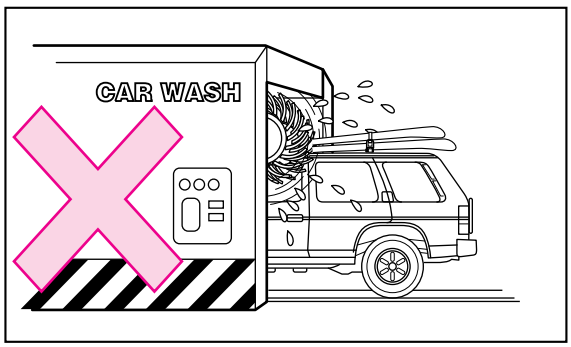
使用上の注意



ベルトの締めすぎに注意してください。
ベルトを締める際は、へこまない程度に確実に締め付けてください。過度に締め付けるとボード本体に割れ、ヘコミ等が生じるおそれがあります。



リアゲートやトランクをボードに当てないでください。もし、当てた場合は必ずキャリア及びアタッチメント、積載物の取付状態を確認してください。
キャリア、アタッチメント、車両、積載物が損傷するおそれがあります。



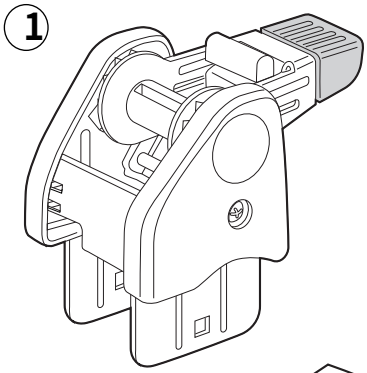
洗車機にかける時は、キャリアを外してください。誤って、キャリアを取付けたままで洗車機にかけた場合は、必ずキャリアの取付状態を確認してください。
キャリアやアタッチメントを取付けたまま洗車機にかけるとキャリアやアタッチメント、車両が損傷するおそれがあります。

部品内容を確認する

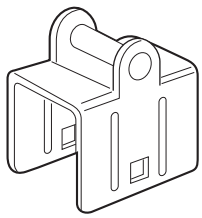
本品には、次の部品が入っています。内容が正しいかどうか確認してください。万一、不足部品がありましたら、本書記載のサービスセンターにお問合せください。

No.	部　品	数量
①	ラチェット本体	2個
②	サブホルダー	2個
③	ベルト	2本
④	ベルトフック	2個
⑤	ノブ	4個
⑥	角根ボルト	4本
⑦	取扱説明書	1部

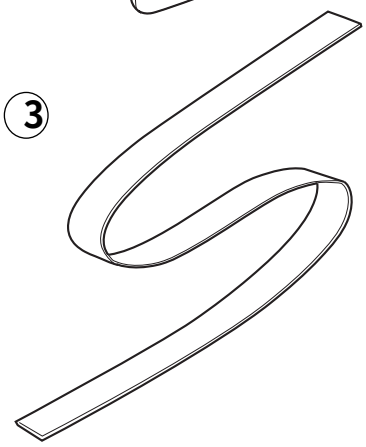
①



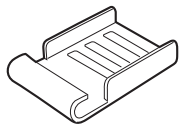
②



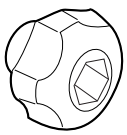
③



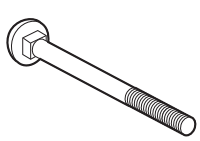
④



⑤



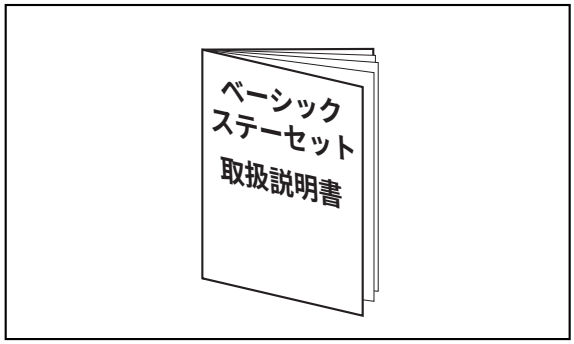
⑥



⑦

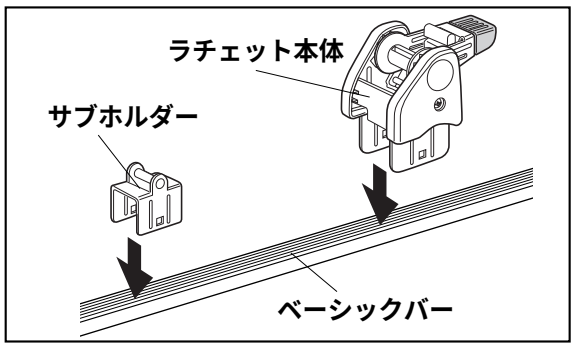
取付方法

準備 1　ステー・バーを車両に取付ける

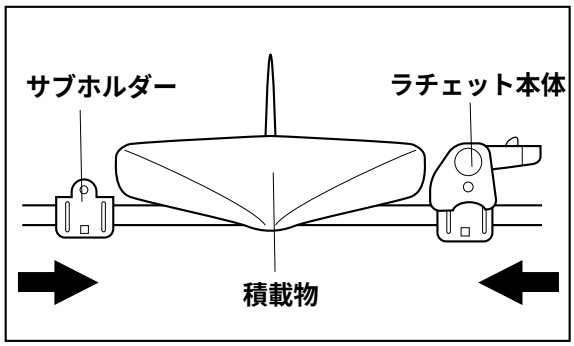


1 ステー・バーをベーシック・ステーセットの取扱説明書に従って正しく取付ける。

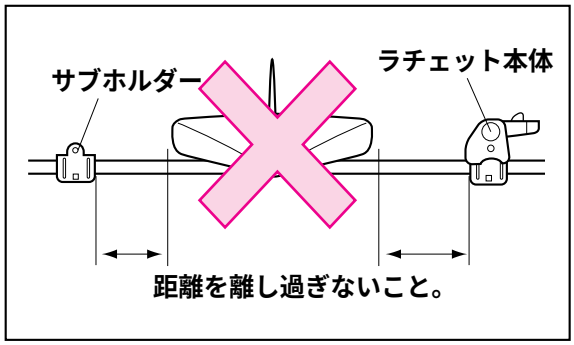
取付 1　アタッチメントをバーに取付ける



1 ラチェット本体とサブホルダーをボードの幅に合わせた任意の位置でベーシックバーに差し込む。

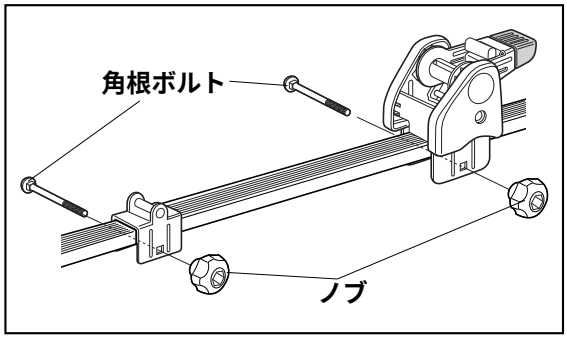


2 この時、サブホルダーとラチェット本体の取付位置はなるべく積載物に近づける。



⚠警告

ラチェット本体とサブホルダーの取付位置が積載物から離れすぎるとベルトのズレや緩みが発生し、脱落のおそれがあります。

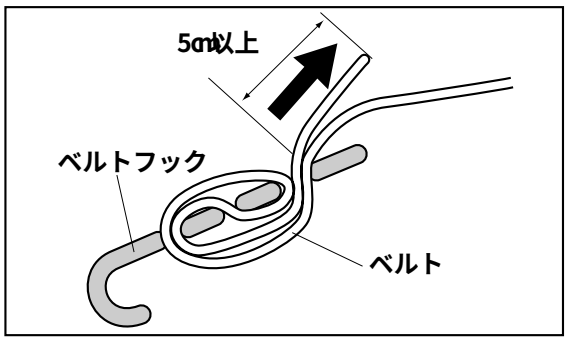


3 付属の角根ボルトとノブで締め込み確実に固定する。

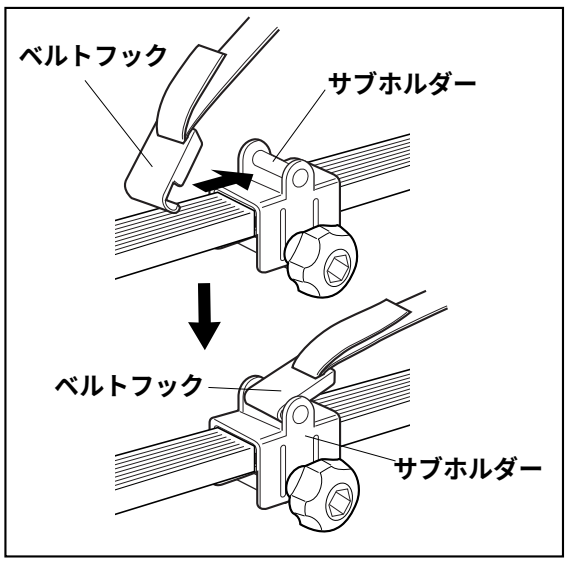
使用方法

使用 1

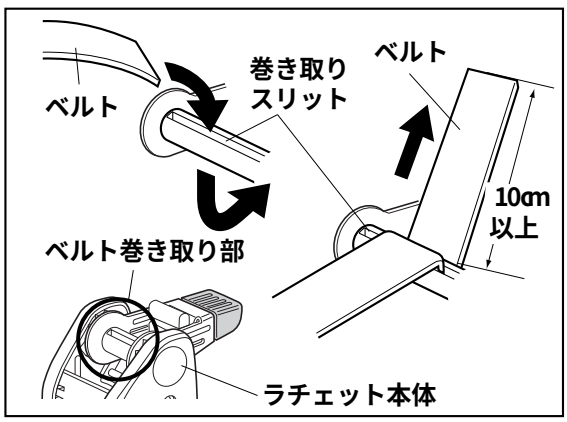
ボードを積載する



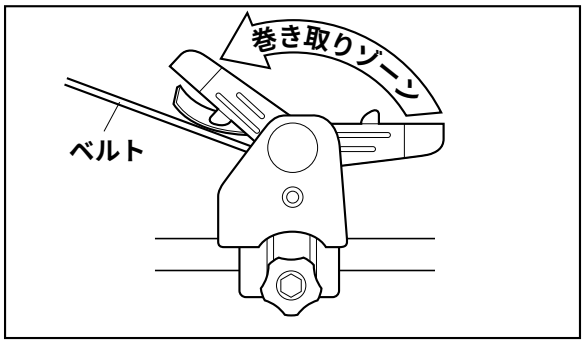
1 左図に従いベルトをベルトフックの長穴に通し、5cm以上引き出す。



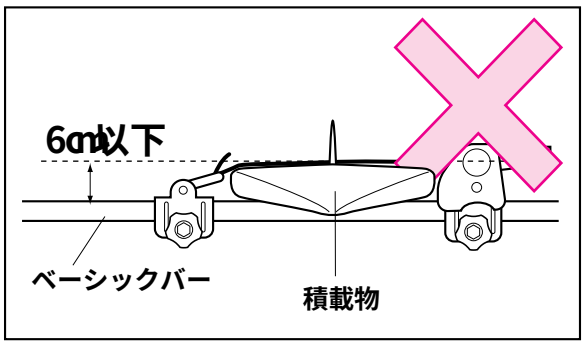
2 サブホルダーにベルトフックをかける。



3 ラチェット本体のベルト巻取り部の巻取りスリットにベルトを通し10cm以上引き出す。

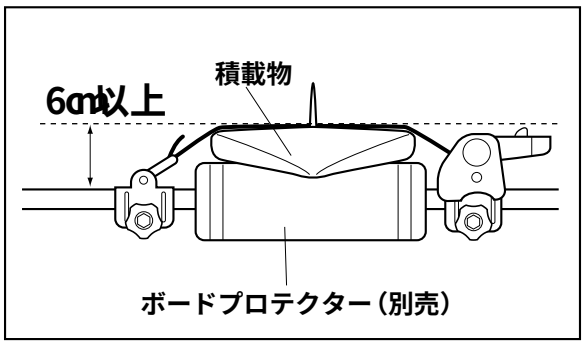


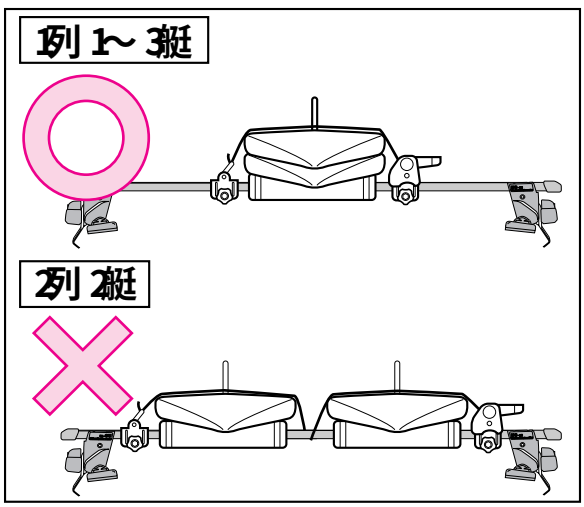
4 レバーを動かしてベルトを巻取る。この時、サブホルダーに引っ掛かっている側のベルトを軽く引っ張りながら 3回転以上巻取りボードを確実に固定する。ベルト巻き取り量が多すぎる場合は、ベルトフック側でベルトの長さを調整する。



⚠警告

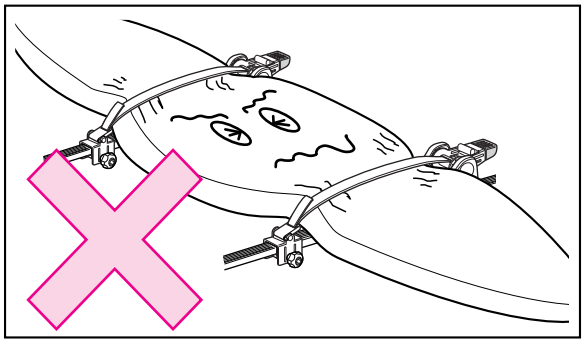
積載物の厚みがベーシックバーから 6cm以下の場合は、ベルトにテンションがかからず、脱落の原因になるおそれがあります。別売のボードプロテクター等を使用して 6cm以上になるように調整してください。





⚠警告

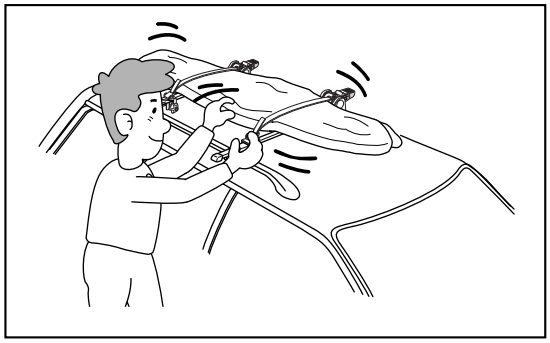
サーフボードまたはセイルボードは必ず 1列で積載してください。 2列で積載すると固定力不足により脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



⚠注意

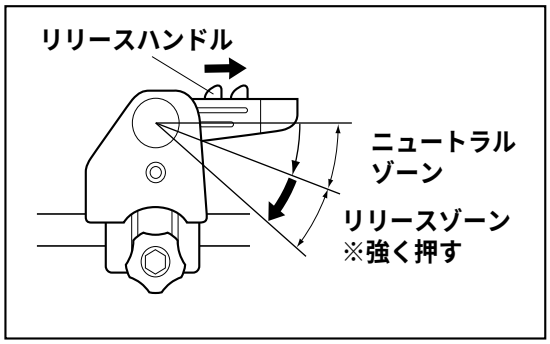
ボードを過度に締めすぎると割れ、ヒビ、へこみの原因となるおそれがあります。締めすぎには十分注意してください。

使用 2　走行する



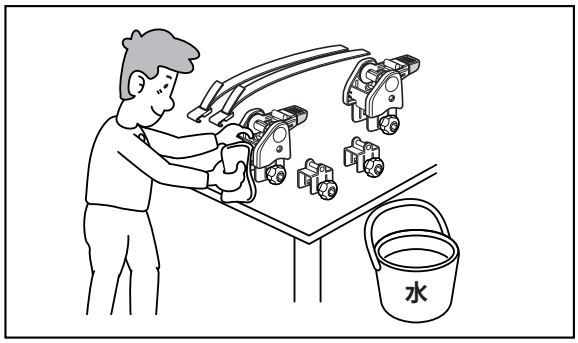
1 走行前に必ずボードをゆすり、ボードがしっかり固定されているか、ノブのユルミがないかを確認する。

使用 3　ベルトの緩め方



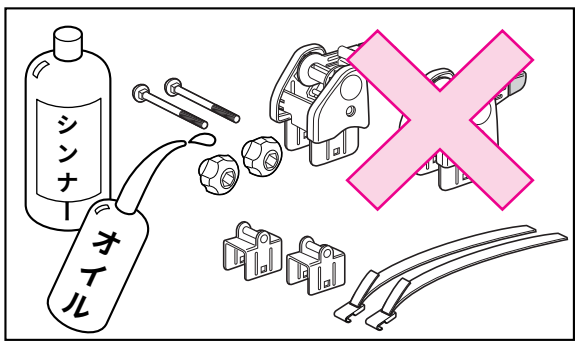
1 リリースハンドルを指で手前に引き、ニュートラルゾーンからリリースゾーンへレバーを強く押し下げ、シャフトがリリースされベルトが緩んだら手で引っ張って外す。

日常のお手入れ



1 水で泥汚れを落とす。

2 水を含ませ固く絞ったタオルで汚れを取除く。

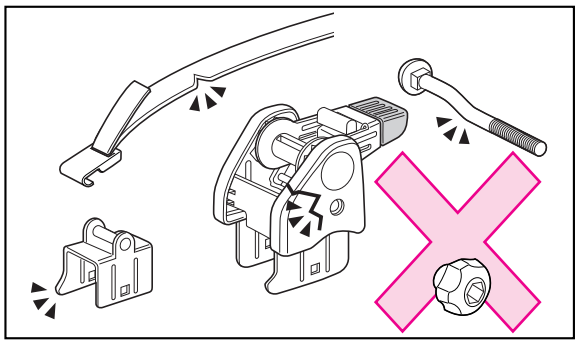


参考

●シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
●ノブやボルトへの給油はしないでください。

保管方法

各部の点検をする

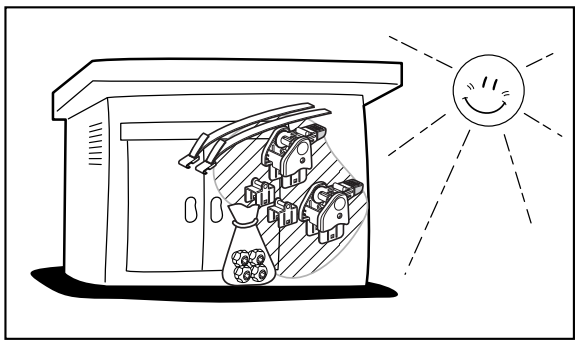


1 アタッチメントを清掃し、各部に異常がないかを点検する。

点検方法

●アタッチメントに亀裂、変形、破損がないか点検する。もし亀裂があれば使用しないでください。
●ベルト、ノブ、ボルトに亀裂、変形、破損がないか点検する。もし亀裂、変形、破損があれば交換してください。

アタッチメントを保管する



1 直射日光の当たらない乾燥した屋内に、アタッチメントを保管する。

参考

●アタッチメントを使用しない時は、雨や紫外線などによるサビや劣化などを防ぐために、車両から外して保管してください。
●ノブ等の小物部品は、まとめてビニール袋などに入れてアタッチメントといっしょに保管すると便利です。

純正補修パーツのご案内

本品には、下記の純正補修パーツがあります。お求めの際には、キャリアを購入された販売店にパーツ No. またはパーツ名を指定してご注文ください。

参考

●本書に記載する価格には消費税は含まれておりません。
●本品及び純正補修パーツの仕様と外観は、改良のため予告なく変更することがあります。